

提案書

・ロゴデザイン



シンボルマークはゴミ袋をモチーフにしている。袋の結びの部分が無敵マークになっており、大分市が方針としている「循環型社会」の形成をイメージしたデザインとなっている。中央のデザインは一つ一つを分けて見ることによって「大分」の文字が浮かんで見える。

ロゴタイプはゴミ減量と4R（リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル）の二つで組んでおり、わかりやすさを重視している。

カラーはエコ・グリーンを使用しており、環境やエコを連想させる色にしている。市民への親しみやすさを出すため全体的に丸みを持たせたデザインとなっている。

▼その他バリエーション



・展開例



・エコバッグ



・リユースカップ

・指定有料ゴミ袋デザイン



デザインのコンセプトは「ゴミ捨て場の共同アート」。

ゴミ捨て場に捨てた際、他のゴミ袋と運動してリサイクルンが手を繋ぐように設計されており、ゴミ捨て場の見映えを高めるだけでなく、市全体でゴミ分別や環境に対しての協力意識を高める。また、下図の様な陳列にして売ることによってゴミ減量・分別を掲げた広告として活用できる。従来のデザインの雰囲気を残し、親しみやすさを出している。

▼陳列例

